

宇奈月大原台設立趣意書

宇奈月温泉スキー場を含む大原台活性化組織

黒部市宇奈月温泉字大原地内は、宇奈月温泉街の南側段丘地にあり、北アルプスの峰々や遠くは日本海、能登半島まで見渡すことができる眺望の素晴らしいところであると同時に、昭和31年に富山県初のスキー場がオープンした歴史と伝統のある自然豊かな地域であります。

また、僧ヶ岳登山道の入り口として多くの登山客が訪れるほか、彫刻家・佐々木大樹氏が制作した大観音像「平和の像」が建立されているなど地域を代表する観光施設として、野外活動や雪上活動の場として広く市民・県民に親しまれてきました。

しかし、近年の地球温暖化による降雪不足や現有設備の老朽化、全国的なスキー客離れなどの影響によりスキー場利用者が年々減少し、スキー場の存続が危ぶまれている状況にあります。

これまで冬季間の観光誘客施設として、また地元住民の体育・スポーツの場として親しまれてきた宇奈月温泉スキー場を含む大原台地域一帯の総合的な利活用を促進し、ひいては宇奈月温泉、黒部市全体の発展と地域間競争に打ち勝つまちづくりを図るため、その活動母体となる組織の設立が不可欠であります。

宇奈月温泉スキー場の運営を担い、冬季スポーツの普及振興並びに大原台地域の優れた景観や自然環境を活かしたまちづくりをめざす「宇奈月大原台」の設立趣旨にご賛同賜り、是非、ご参加ご支援くださいますようお願い申し上げます。

平成20年10月吉日

宇奈月大原台設立発起人

中島スキーセンター	中島	昭彦
ロッジ上田	上田	芳正
宇奈月温泉自治振興会	魚津	成昭
宇奈月温泉旅館協同組合	延対寺	篤
宇奈月スキークラブ	坂井	守
大原台そば研究会	森田	唯志